



外国語教育メディア学会 (LET) 第 98 回 (2022 年度春季) 中部支部研究大会 プログラム



大会テーマ：「メディア・教育・ジェンダー」

日時 2022 年 5 月 28 日 (土) 10:00-17:00
会場 オンライン (Zoom 使用)
実行委員会本部：名古屋工業大学工学部
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

研究大会実行委員長 石川 有香 (名古屋工業大学)

主催 外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部
後援 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会 (申請中)

問い合わせ先：外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部事務局
事務局長 工藤 泰三 (名古屋学院大学) taizo@ngu.ac.jp

参加申込締切は 5 月 25 日 (水) です

大会 HP はこちら (<https://bit.ly/LETG2022Spring>) →



時 程

.....

9:30 Zoom 入室受付開始【Zoom Room 1】
(9:50 - 10:00 賛助会員ビデオ放映)

.....

10:00 - 10:10 開会式【Zoom Room 1】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）
主催者挨拶：高橋 美由紀
（中部支部支部長・鈴鹿大学）
開催校挨拶：石川 有香（名古屋工業大学）
事務連絡：工藤 泰三
（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

.....

10:15 - 12:00 講演【Zoom Room 1】

司会・講師紹介：石川 有香（名古屋工業大学）
講師：小林 直美（愛知工科大学）

「ニュースのジェンダー・バイアス～東京オリンピック 2020 から考える～」

東京オリンピックでは女子選手の参加率は史上最多の 49%に達した。スポーツでは参加率や競技種目においてジェンダー平等が進んでいるように思われるが、ニュースにおけるジェンダー・バイアスは根強く存在する。学習コンテンツとしてよく取り上げられるメディアにおけるジェンダー問題とその課題について東京オリンピックのニュースを事例に選手と制作者の双方について述べていく。また、今日の課題とされるダイバーシティについても考察する。

.....

12:00 - 13:00 昼食（各自でお済ませください）
(12:50 - 13:00 賛助会員ビデオ放映)

.....

13:00 - 13:25 中部支部総会【Zoom Room 1】 ★中部支部会員の皆様はご参加ください

.....

.....

13:30 – 14:00 賛助会員プレゼンテーション 【Zoom Room 1】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

13:30-13:45 株式会社教育測定研究所（<https://www.jiem.co.jp/>）

13:45-14:00 チエル株式会社（<https://www.chieru.co.jp/>）

.....

14:05 – 15:10 研究発表・実践報告・ワークショップ

（発表概要は pp. 5-6 をご参照ください）

(1) 14:05 – 14:35 (2) 14:40 – 15:10

第1室 【Zoom Room 1】

司会：天野 修一（広島大学）

(1) 機械翻訳の普及と英語学習への意識や動機づけとの関係【研究発表】

石川 佳浩（麗澤瑞浪中学・高等学校）

(2) 英文読解における読解方略のメタ認知が英文読解に及ぼす影響について：英語学習者の読解時の眼球運動データをもとに【研究発表】

梁 志鋭（豊橋技術科学大学）・吉川 りさ（名古屋工業大学）

第2室 【Zoom Room 2】

司会：宮崎 佳典（静岡大学）

(1) ICT トレーニングによる日本人大学生の英語母音の調音認識の向上のための試み【研究発表】

西尾 由里（名城大学）・上斗 晶代（県立広島大学）

.....

15:20 – 16:50 シンポジウム 【Zoom Room 1】

「メディア・教育・ジェンダー」

司会：石川 有香（名古屋工業大学）

パネリスト： 小林 直美（愛知工科大学）

三枝 麻由美（名古屋大学）

石川 有香（名古屋工業大学）

近年、様々な施策が実施され、社会における顕在的な性差別は以前より軽減しているように思われる。しかしながら、「見えないカリキュラム」に束縛された学校という文脈において、意識のレベルでは、いまだ、両性に対するステレオタイプ的な見方が根強く残っていることも事実である。今回のシンポジウムでは、スポーツメディアにおける女性表象の問題を長く考究している小林と、大学における女性エンパワメント施策の立案や実施に関わる研究をしている三枝から報告を行った

後、石川は、現代英語や英語教科書における女性表象のゆがみについて報告する。3人の報告の後、(1)外国語の教材開発や教授においてジェンダーの問題にどうアプローチすべきか、(2)学生のジェンダー・ステレオタイプの改善に外国語教員は何ができるか、(3)教育現場においてジェンダーの問題を考える場合、女性教員・男性教員のコラボレーションをどう進めていくべきか、(4)単なる男女差を超えて、ジェンダーという概念に本来含まれる cis 以外の non-binary への配慮をどのように行っていくべきか、(5)ジェンダー問題にセンシティブな学生を育てることは、逆説的にインクルージョンを阻害するのではないか、といった論点について各自の意見を示しつつ、フロアとの意見交換によって、より良い外国語教育の実践の方向性を探っていければと考えている。

.....

16:50 - 閉会式 【Zoom Room 1】

司会：石川 有香（名古屋工業大学）

主催者挨拶：西尾 由里

（中部支部副支部長・名城大学）

事務連絡等：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

（今大会は懇親会はありません）

発表概要

第1室【Zoom Room 1】

(1) 機械翻訳の普及と英語学習への意識や動機づけとの関係【研究発表】

石川 佳浩（麗澤瑞浪中学・高等学校）

近年、機械翻訳が急速に普及してきている。そのような中でも学習者は英語学習への動機づけを保てるかを調査するために、日本国内の中高生 118 人を実験参加者として、機械翻訳の普及と英語学習への動機づけの関係について調査した。調査には質問紙を用い、現在英語を学習しているのは内発的動機づけからか外発的動機づけからかを調査するための現在の動機に関する項目や、機械翻訳普及後も英語学習を続けるか等の機械翻訳と英語学習への意識を尋ねる項目を設定した。その後、現在の動機づけの種類や、英語の得意不得意等英語への意識によって機械翻訳普及後の英語学習への意識や動機づけに影響があるかについて、リッカート尺度を用いた指標に対しては Mann-Whitney の U 検定、名義尺度を用いた指標に対しては Fisher の正確確率検定を用いて解析を行った。分析の結果、機械翻訳普及後の動機づけと動機の種類では有意差は検出されず ($p = .455$)、英語が得意か ($p = .002$) や現在の英語学習への意欲の強弱 ($p < .001$) では、有意差が検出され、英語の得意・苦手意識や学習意欲の強弱と機械翻訳普及後の英語学習動機づけとの関連が示唆された。

(2) 英文読解における読解方略のメタ認知が英文読解に及ぼす影響について：英語学習者の読解時の眼球運動データをもとに【研究発表】

梁 志鋭（豊橋技術科学大学）・吉川 りさ（名古屋工業大学）

読解方略の利用実態を調査する手段として質問紙は広く利用されている。こうした質問紙の結果が読解活動の実態をどれほど反映するかに関しては、読解方略のメタ認知を測る質問紙 Metacognitive Awareness of Reading Strategies Inventory (MARSИ) の結果と英文読解の眼球運動との関係について、日本人英語学習者を対象に予備調査を行った先行研究により、眼球運動測定値は質問紙結果と一致することがわかった。しかしこの予備調査では、各読み手は 24 文しか読んでおらず眼球運動データの規模が小さかった。そこで本研究は、先行研究と同様の数の日本人英語学習者 59 名を対象に、約 4 倍の英文数での読解時の眼球運動を記録し、それらのデータと MARSИ の調査結果との関係を調べた。一般化線形混合モデルを用いた分析の結果、先行研究の結果と一致し、MARSИ が測る読解方略のメタ認知は眼球運動の測定値に影響した。本結果は質問紙調査による読解方略のメタ認知は読解活動の実態を反映することを示唆する。

第2室【Zoom Room 2】

(1) ICT トレーニングによる日本人大学生の英語母音の調音認識の向上のための試み【研究発表】

西尾 由里（名城大学）・上斗 晶代（県立広島大学）

目標言語として正確な発音学習において、英語母語話者の映像や顔を見ながら発音したり、明示

的に発音の仕方を説明する方法が効果的であるといわれる。しかし、母音の発音において、学習者は音を作り出す舌が上下前後のどこにあり、口の大きさや、円唇であるかどうかなど調音の仕方を自覚していないことも想定される。そこで、英語母語話者の発音映像と自分の発音している映像とを同時に比較できる ICT 教材を開発し、その ICT 教材を使用しての発音学習前後で、発音時の調音についての認識調査、および学習者の発音に変化があるかを検証した。言語材料として、英語アルファベットに出現する母音 /ei/、/oo/ などを取り上げた。ICT 教材には発音の仕方の説明、文字、発音記号が提示された。参加者は、外国語学部生 20 名（処置群：10 名、自己映像有；対照群：10 名、自己映像無）であった。学習前後の発音について音響分析（Praat）を行った結果、処置群は対照群に比べ、音素レベルの発音の改善率（誤り数と改善数の割合）が高くなり、調音認識にも変化が表れた。

賛助会員ビデオ放映

- 株式会社三修社 (<https://www.sanshusha.co.jp/>)
- 株式会社大修館書店 (<https://www.taishukan.co.jp/>)
- チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

昼食 各自でお取りください。

懇親会 今回は懇親会は開催いたしません。

大会参加申込用
QRコード



大会参加のご案内

- ご参加には事前申し込みが必要です。5月25日までに Google フォームよりお申し込みください。URL は <https://forms.gle/MpnJRFpG5TMEjBMA> です（右上の QR コードもご利用いただけます）。
- 発表者の方も参加申し込みをお願いいたします。
- 今回は会員・非会員とも参加費は無料です。
- 今回は Zoom を用いてオンラインで開催いたします。Zoom のミーティング ID およびパスコードは、参加申し込みをされた方に大会前日までにメールでお知らせいたします（ID・PC は各 Room で異なります）。なお、ログインの際はお名前を本名の表示（漢字・かな、またはアルファベット）にし、発言される時以外はマイクを OFF にしてください。
- 発表者の方は、発表開始 5 分前までにご自身の発表会場となる Room にログインしてください。
- 発表時には、発表者は画面共有機能を使うことができます。

以上

新規ご入会案内

- 会員になられますと、LET 全国研究大会（年 1 回）や支部研究大会（年 2 回）での研究発表・実践報告、紀要への投稿などをしていただくことができます。
- LET 本部サイト（下記）にて入会登録をしていただくと仮会員になります。仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます。なお、年会費は次の通りです。

個人会員：年額 6,000 円 / 学生会員：年額 3,000 円 / 団体会員：年額 6,000 円

- 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします）。

会員登録、会員情報の更新は

LET 本部サイト (<https://www.j-let.org/>) からお願いします →



